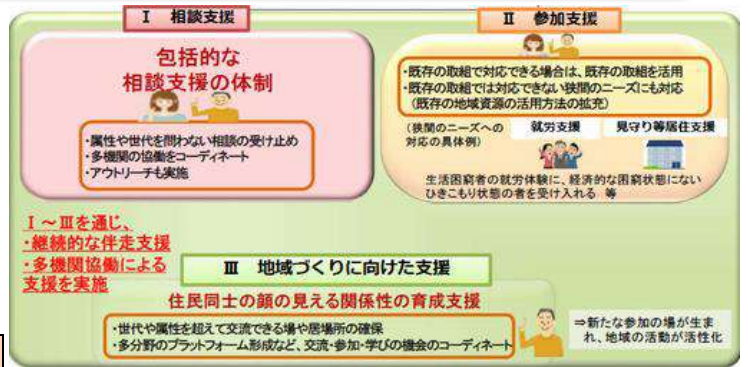


「重層的支援体制整備事業」における重層的支援会議を体感する研修

練馬区の計画においても「重層的な支援体制の強化」が位置づけられています。8050 問題やひきこもりなど、複雑な支援課題のある世帯等のケースについて、関係機関で情報共有し、支援を円滑に行うために協議する「重層的支援会議」を体感する研修です。

昨年度は大好評で
合計 72 名が参加！

| | | |
|--|-----------|----------|
| 研修名 | | |
| 事例検討を通してつながる多機関・多職種連携 ～重層的支援体制整備事業における 重層的支援会議を体感する～ | | |
| 日程 | | |
| 6/19 (水) | 11/29 (金) | 2/19 (水) |
| 時間はいずれも 9:00～12:00 同じ内容の研修を 3 回、実施します。 | | |



事業の全体像(厚生労働省資料より抜粋)

「重層的支援体制整備事業」とは

I「包括的な相談支援体制」、II「参加支援」、III「地域づくりに向けた支援」をキーワードに、制度のはざまに孤立した人や家庭を把握し、継続的な伴走支援を実施する体制を作ります。また、「高齢」「障害」「子ども」「生活困窮」各制度の関連事業を一体的に実施し、相互に機能が果たされることで包括的に困りごとの解決を目指します。
(十文字学園女子大学 副学長 今井 伸 氏の講義資料より抜粋)

「高齢期における制度をまたいだ切れ目のない支援」をテーマにした研修

様々なテーマからなる 5 つの研修を実施しており、令和 6 年度は『地域共生社会の実現に向けて』に関連する研修 みんなで考えようシリーズ』に集約しました。

障害のある方と家族の高齢化に伴う多様化するニーズに対応するために、また、練馬区の住み慣れた地域で暮らし続けることができる支援を提供するためにスキルアップしませんか？

| 研修名 | 研修内容 | 主な対象者 |
|--|---|---------------------------|
| ライフステージに沿った、切れ目のない支援のもとでの暮らしを考える ～障害者の高齢期に向けた支援、つぎのステージに「つなげる」ために支援者ができること～ | 練馬区障害者地域自立支援協議会の地域生活・高齢期支援部会の取り組みをもとに、高齢期を迎える障害者や家族への支援、地域で支援する取り組みなどを理解します。 | 障害福祉サービス事業所の職員 |
| あらためて確認しよう！地域生活を支える障害者ケアマネジメントの理解 ～介護支援専門員と相談支援専門員による連携支援の実現に向けて～ | 介護・障害福祉サービスに共通する地域生活を支えるための障害者ケアマネジメントについて理解し、介護支援専門員と相談支援専門員の連携の視点から、ライフステージをまたいだ支援の仕組みづくりを学びます。 | 介護支援専門員 相談支援専門員 |
| 障害者の高齢期に向けた 「準備の支援」とは ～生活環境の変化を理解し、生活者の視点から地域生活支援を考える～ | 障害者の高齢期における生活環境の変化を理解し、円滑に高齢期の生活に移行して希望する生活を実現できるように、ライフステージや年代に関わらず全ての支援者に求められる「準備の支援」について学びます。 | 障害福祉サービス事業所の職員 |
| 65 歳到達を契機に介護支援専門員が支援する事例をもとに ～高齢期における制度をまたいだ切れ目のない支援～ | 介護支援専門員が作成した障害福祉サービスと介護保険サービスを併用したケアプランの事例をもとに、流れや知っておきたいポイントを知り、65 歳を契機とした移行時における円滑な連携について考えます。 | 介護支援専門員 障害福祉サービス事業所の職員 |
| 介護支援専門員の不安を軽減しよう！ 65 歳到達の引き継ぎ時に必要な障害福祉サービス制度等の知識や実務を知る | 65 歳を契機に、介護支援専門員によるケアプラン作成に変わる際の不安を軽減するために、障害福祉サービス制度等の知識や実務を理解します。 | 介護支援専門員 |



どの研修も事例検討やディスカッションなどのグループワークがあり、意見や情報の交換を行います。



研修終了後、受講者同士の名刺交換は恒例となっています！

相談支援専門員、介護支援専門員におすすめの研修

障害のある方、介護が必要な高齢者等が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるように支援する「要」となる相談支援専門員、介護支援専門員のスキルアップに活用できる研修についてご紹介いたします。



介護サービス情報公表、運営基準等に 沿った研修を受講したい！

「認知症ケアに関する研修 各種」
 「倫理及び法令遵守&プライバシーの保護について理解する」
 「感染症・食中毒の予防、蔓延防止」
 「今井塾！養護者による高齢者虐待の防止と対応（在宅系サービス編）」
 「障害者虐待の防止 ～事業者求められる役割と責務とは～」 など

社会人としての基本力を 改めて学びたい！

「知っておきたい接遇マナーのきほん」
 「学ぼう！ファシリテーションスキルの基礎」
 「仕事力がアップするシリーズ 第1弾 実務に活かそう！分かりやすく伝えるための論理的思考」
 「仕事力がアップするシリーズ 第2弾 業務管理能力を高める PDCA サイクルのきほんを学ぶ」 など

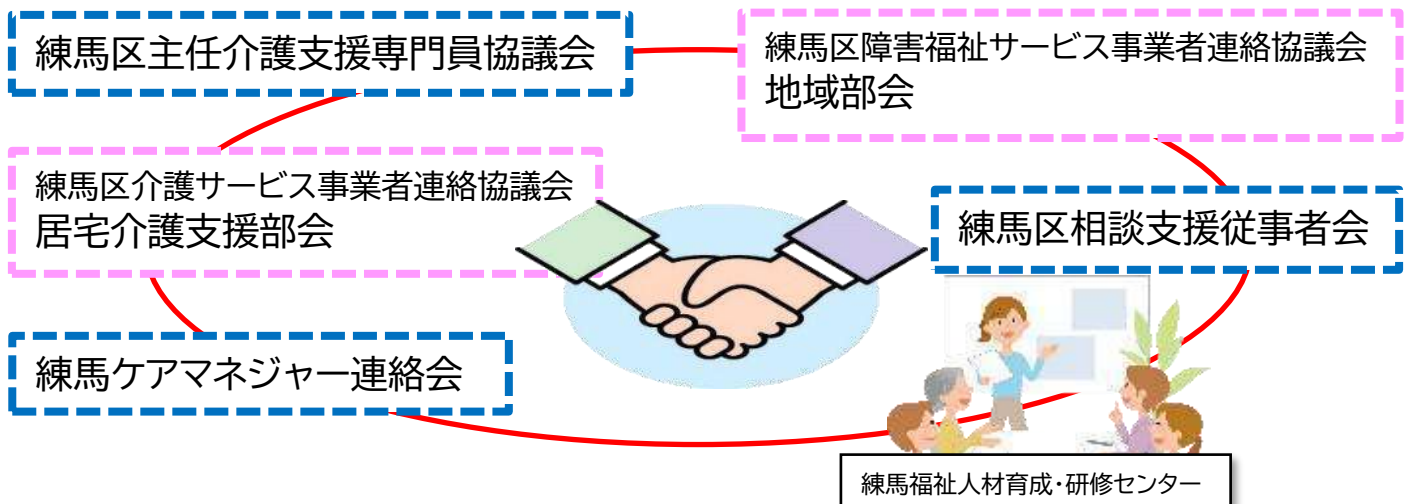
さらに一步、ブラッシュアップしたい！

「なるほどが盛りたくさん！ソーシャルワーク基礎研修 ～利用者や家族への対応力を磨く～」
 「利用者・家族との信頼関係を築く対人援助技術 ～バイスティックの7原則を理解しよう～」
 「相談援助の基礎を磨く！相談援助職に求められる相談面接の技法を身につけよう」
 「実践に活かす！意思決定支援のプロセスを理解しよう ～『認知症の人の意思決定支援ガイドライン』から支援のポイントを学ぶ～」 など

働きやすい職場づくりに役立つ！

「職場で活かそう！PEP TALK（ペップトーク）～チームメンバーのやる気を引き出す魔法の言葉～」
 「人材育成に役立つ！明日から使えるコーチングスキル」
 「労務管理のポイント ～転ばぬ先の杖！事前に食い止める労務トラブル～」
 「職場のメンタルヘルスにおけるラインケア」
 「職場のハラスメント防止」
 「人と職員を守る！利用者・家族からのカスタマーハラスメントへの対応」 など

また、練馬区内各団体と連携しながら、相談支援専門員や介護支援専門員の人材育成を支援しています。



新任職員におすすめの研修



養成校などによる専門職としての育成を受けていない無資格で入職する職員が増えるなど、新規に入職する職員が多様化しています。支援者としての価値観・倫理観、基本的な知識や技術を学ぶ新任職員向け研修を多数実施！事業所での新人育成にご活用ください。

2回実施 同じ内容の研修について、時期を変えて実施します。

まずは、福祉職として働く心構えを理解してもらいたい！

「支援者としての価値観・倫理観を身につけよう
～障害者の意思決定支援と障害者権利条約～」
「その人らしく暮らすためにサポートする支援者に伝えたいこと ～本人を理解するために、知的障害・発達障害を理解する～」 2回実施
「これだけは知っておきたい！障害者、高齢者福祉の歴史と発展過程 ～利用者の尊厳と権利擁護の考えを理解する～」
「人権ってだれのもの？『気づき』から考える、みんなにとって『大切なこと』 ～福祉職として人権の尊重について身の回りの出来事からあらためて考えよう～」 など

現場ですぐに実践できる、介助(援助)技術を習得してほしい！

「“おいしい食事をいつまでも元気に” 食事介助と口腔ケアの基礎を学びましょう」 2回実施
「“快適な生活を送るために” 排泄介助・清潔保持(入浴、清拭)の基礎を学びましょう」 2回実施
「移動、移乗介助基礎研修 ～ボディメカニクスと持ち上げない介護～」 2回実施
「はじめてのSST 初心者編」
「利用者・家族との信頼関係築く対人援助技術～バイスティックの7原則を理解しよう～」 2回実施

など



介護分野や障害福祉分野の基礎知識を学んでもらいたい！

「これだけは知っておきたい！各障害の特性理解とその支援 基礎編」 2回実施
「基礎編！ダウン症の特性の理解について ～行動を支える諸機能の特徴～」
「現場に活かせる！発達障害のある子どもの特性理解と支援方法 ～支援の中でおさえておきたい対応を身につけよう～」
「認知症ケア基礎研修」
「優しさを伝えるケア技術：ユマニチュード®」
「知っておきたい！高齢者介護に必要な医療知識」 など

ビジネスマナーや接遇マナーも身につけてもらいたい！



管理者の方は、新人職員のオリエンテーションや事業所での伝達研修にも活用できます！

「知っておきたい接遇マナーのきほん」 2回実施
「給与明細の見方(勤怠、支給、控除)、働き方改革関連法、福祉職のキャリアパス(仮)」
「事例から学ぶ！個人情報保護」
「倫理及び法令遵守&プライバシーの保護について」
「より良い関係づくり～自分も相手も楽になるコミュニケーション術」 など



接遇マナーの研修ではお辞儀の仕方を練習！社会人としてのマナーが身につきます。



介護技術の研修は、障害福祉サービス事業所職員にも好評です！



価値観・倫理観を学ぶ研修では、グループワークをとって意見を出し合い、ともに考えます。

■ 研修体系・年間スケジュール

NEW

・・・今年度から新規に実施する研修

更新

・・・昨年度に実施した研修内容を一部変更

複数回実施

・・・同じ内容の研修について、時期を変えて実施

情報公表

・・・介護サービス情報の公表に準じた研修

法定研修

・・・介護サービス・障害福祉サービスの運営基準に該当する研修

全2回の連続研修

・・・一つの研修テーマを連続して参加

1 「地域共生社会の実現に向けて」に関連する研修

・障害福祉分野と介護分野の相互理解を深め、地域での連携により支援力の向上につなげます。
・誰もが住みやすい地域づくりのために、幅広い視野を養います。

| カテゴリー | 研修タイトル (★印は区民オープン研修) | 研修開催月日 | | | | | | | | | | | | ページ | |
|-----------------------------------|---|--------|-----|---|----|----|----|----|----|----|---|----|----|-----|----|
| | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | | |
| みんなで考えよう シリーズ (地域連携・支援力の向上) | 誰もが安心して地域で暮らすために ～障害のある当事者の方の話から考える～ ★ | 調整中 | | | | | | | | | | | | 17 | |
| | 障害のある人が地域で暮らすとは ～「わけるとふえた」地域共生社会の実践例と精神障害のある当事者の方の話から考える～ ★ | | | | | | | 25 | | | | | | 17 | |
| | 事例検討を通してつながる多機関・多職種連携～重層的支援体制整備事業における重層的支援会議を体感する～ | 複数回実施 | | | 19 | | | | | 29 | | | 19 | 17 | |
| | ライフステージに沿った、切れ目ない支援のもとでの暮らしを考える ～障害者の高齢期に向けた支援、つぎのステージに「つなげる」ために支援者ができること～ | | | | | | 27 | | | | | | | 17 | |
| | あらためて確認しよう！地域生活を支える障害者ケアマネジメントの理解 ～介護支援専門員と相談支援専門員による連携支援の実現に向けて～ | | | | | | | | 27 | | | | | 17 | |
| | 障害者の高齢期に向けた「準備の支援」とは（仮） ～生活環境の変化を理解し、生活者の視点から地域生活支援を考える～ | | | | | | | | | | | 20 | | 17 | |
| | 65歳到達を契機に介護支援専門員が支援する事例をもとに（仮） ～高齢期における制度をまたいだ切れ目のない支援～ | | | | | | | | | 22 | | | | 18 | |
| | 介護支援専門員の不安を軽減しよう！65歳到達の引き継ぎ時に必要な障害福祉サービス制度等の知識や実務を知る（仮） | | | | | | | | | | | | 14 | 18 | |
| 知っておきたいトピックス | ヤングケアラーの理解と支援について | | | | | | | | | 11 | | | | 18 | |
| | 若年性認知症の本人・家族への支援の考え方とその実際 | | | | | | | | | | 9 | | | 18 | |
| | 「障害者とのコミュニケーションガイドブック」に関する研修（仮） | NEW | 調整中 | | | | | | | | | | | | 18 |
| | 大人の発達障害について知り、支援に活かす ～生きづらさを抱える人に寄り添うということ～ | | | | | 23 | | | | | | | | 18 | |
| | 地域での孤立を防ぐために、私たち専門職ができること ～生活困窮者や高齢者、障害者や子ども等を地域から孤立させない支援について～ | | 調整中 | | | | | | | | | | | | 18 |
| 練馬区について知る | 生活に困窮する人への支援 ～生活サポートセンターの取り組み～ | | | | 18 | | | | | | | | | 19 | |
| | 知っておくとトクする！練馬区の歴史から地域特性について知り、支援に活かそう | | 調整中 | | | | | | | | | | | | 19 |
| | 地域で活動している人や団体等とつながり、支援の幅を広げよう ～練馬ボランティア・地域福祉推進センター/コーナー（光が丘・大泉・関町）の取り組みより～ | | | | | | | | 20 | | | | | 19 | |
| | 児童福祉分野から地域共生社会を考える | | 調整中 | | | | | | | | | | | | 19 |
| | 特別支援学校（高等部）について知り、成人期の支援に活かす | | | | 21 | | | | | | | | | 19 | |
| | 生きづらさを抱えた人への支援 ～不登校やひきこもり状態で孤立し、社会とのつながりを失っている若者たち～★ | | | | | 29 | | | | | | | | 19 | |

2 「求められる人物像」に沿った研修

(1) 専門職として必要な価値観・倫理観・姿勢を養う

| カテゴリー | 研修タイトル (★印は区民オープン研修) | 研修開催月日 | | | | | | | | | | | | ページ | |
|---------------|--|--------|-----|---|----|---|---|----|----|----|---|----|----|-----|----|
| | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | | |
| 人権と尊厳の保持 | これだけは知っておきたい！障害者、高齢者福祉の歴史と発展過程 ～利用者の尊厳と権利擁護の考えを理解する～ ★ | | | | 22 | | | | | | | | | 20 | |
| | 支援者として価値観・倫理観を身に付けよう！ 障害者の意思決定支援と障害者権利条約 ★ | | 19 | | | | | | | | | | | 20 | |
| | 「合理的配慮」と「共生社会の実現」を考えよう ～4月から施行！「改正障害者差別解消法」を理解する～★ | 複数回実施 | 16 | | | | | | | | | 24 | | 20 | |
| | 人権って誰のもの？「気づき」から考える、みんなにとって「大切なこと」 ～福祉職として人権の尊重について身の回りの出来事からあらためて考えよう～ | | | | 24 | | | | | | | | | 20 | |
| 個人の権利をまもる制度 | 事例から学ぶ！個人情報保護 | 情報公表 | 調整中 | | | | | | | | | | | | 20 |
| | 知っておきたい成年後見制度 | | | | 14 | | | | | | | | | 20 | |
| 職業倫理、コンプライアンス | 倫理及び法令遵守＆プライバシーの保護について理解する | 情報公表 | | | 13 | | | | | | | | 20 | | |

| カテゴリー | 研修タイトル (★印は区民オープン研修) | 研修開催月日 | | | | | | | | | | | | ページ | | |
|-----------------|--|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|---|-----|--|----|
| | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | | | |
| 権利擁護 | 身体拘束について立ち止まって考えよう ～身体拘束につながる不適切なケアをなくす取組とは～ | 情報公表 法定研修 | | | 26 | | | | | | | | | | | 21 |
| | 施設で取り組む高齢者虐待防止対策～原因を分析し防止対策を講じれば防げる～ | 情報公表 法定研修 | | 17 | | | | | | | | | | | | 21 |
| | 今井塾！養護者による高齢者虐待の防止と対応（在宅系サービス編） | 情報公表 法定研修 | | | | 10 | | | | | | | | | | 21 |
| | 虐待・グレーゾーンについて考える | 法定研修 | | | | | | | | 16 | | | | | | 21 |
| | 障害者虐待防止法と虐待防止対策を考える（仮）～虐待を防止するために組織・チームとして取り組むこと～ | 法定研修 | | | | 23 | | | | | | | | | | 21 |
| | 実践に活かす！意思決定支援のプロセスを理解しよう～「認知症の人の意思決定支援ガイドライン」から支援のポイントを学ぶ～ | | | | | | 27 | | | | | | | | | 21 |
| 安全の確保、リスクマネジメント | 驚くほど事故が減る！介護・福祉事業のリスクマネジメント | 情報公表 法定研修 | 18 | | | | | | | | | | | | | 22 |
| | 練馬区で起こりうる自然災害に備えよう～福祉事業所における防災の基本を知る～ | 情報公表 | | 21 | | | | | | | | | | | | 22 |
| | 感染症・食中毒の予防、蔓延防止 | 情報公表 法定研修 | | | | | | | | 12 | | | | | | 22 |
| | 感染症に強い施設・事業所を目指す！感染症対策リーダー養成研修 ～個別に課題を見出し、課題解決のための戦略を考える～ | 全3回の連続研修 | | | | | | | 12 | 18 | | 16 | | | | 22 |
| | 自然災害編BCP 策定後のフォローアップ（仮） | NEW | | | | | | | | | | | | | | 22 |

(2) 専門職として知っておきたい知識

| カテゴリー | 研修タイトル | 研修開催月日 | | | | | | | | | | | | ページ | | |
|---------|--|-----------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|-----|--|----|
| | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | | | |
| 制度を理解する | 「障害者ふくしのしおり」を活用して制度を知る～成人期、高齢期に障害を持った方が練馬区で暮らししていくために～ | | | | | | | | | | 22 | | | | | 23 |
| | 移動支援サービスの基礎知識～障害者の余暇・社会参加支援を考える～ | | | | 25 | | | | | | | | | | | 23 |
| | 今井塾！年金制度のしくみと高齢者の所得保障 | | | | | 21 | | | | | | | | | | 23 |
| | 今井塾！医療保険制度のしくみと後期高齢者医療制度 | | | | | | | | | 20 | | | | | | 23 |
| | 今井塾！生活保護制度と低所得者施策 | | | | | | | | | | | 29 | | | | 23 |
| | 介護福祉士受験対策講座 | 全3回の連続研修 | | | | | | | 4 | 1 | 2 | | | | | 23 |
| | ケアマネジャー受験対策講座 | 全2回の連続研修 NEW | | | | | 2 | 2 | | | | | | | | 23 |
| 人を理解する | これだけは知っておきたい！各障害の特性理解とその支援 基礎編 | 複数回実施 | | 22 | | | | | | | 26 | | | | | 24 |
| | その人らしく暮らすためにサポートする支援者に伝えたいこと～本人を理解するために知的障害・発達障害を理解する～ | 複数回実施 | 24 | | | | | | | 22 | | | | | | 24 |
| | 現場に活かせる！発達障害のある子どもの特性理解と支援方法～支援の中でおさえておきたい対応を身につけよう～ | | | | | | | | | | | 30 | | | | 24 |
| | 基礎編！ダウン症の特性の理解について～行動を支える諸機能の特徴～ | | | 17 | | | | | | | | | | | | 24 |
| | 支援編！ダウン症のある成人者の支援方法について～成人期の課題と対応から学ぶ～ | | | | 17 | | | | | | | | | | | 24 |
| | 自閉症、強度行動障害の特性の理解と支援方法～TEACCHプログラムを知り、「問題行動」への対処法を学ぶ～ | | | | | | | | | | | 13 | | | | 25 |
| | 高次脳機能障害者の社会参加を促進するために～高次脳機能障害の症状と社会資源を活用した支援方法を学ぼう～ | | | | | | | | | | 20 | | | | | 25 |
| | 「私の難病のこと、話します」難病者の暮らし、思い、支援を知る | | | | | | | | | | | | | | | 25 |
| | 知っておきたい！高齢者介護に必要な医療知識 | 情報公表 | | | | 17 | | | | | | | | | | 25 |
| | 知っておきたい！高齢者介護に必要な薬の知識 | | | | 13 | | | | | | | | | | | 25 |
| 認知症の理解 | 認知症ケア基礎研修 | 情報公表 | | 30 | | | | | | | | | | | | 26 |
| | 一人の人と向き合うことから始める認知症ケアセンター方式地域型基礎研修 | 全2回の連続研修 | | | 16 | 28 | | | | | | | | | | 26 |
| | 地域の仲間と考える認知症の人のよりよい暮らし認知症ケアを深める事例検討会 | 全3回の連続研修 | | | | | | | 19 | 24 | | 5 | | | | 26 |
| | 認知症ケアを助ける環境づくり～在宅、通所施設、入所施設に適用可能な環境づくりの手法～ | 全2回の連続研修 | | | | 9 | 22 | | | | | | | | | 26 |
| | 優しさを伝えるケア技術：コミュニケーション® | | | | | | | | | | | 12 | | | | 26 |
| | いまさら聞けない”認知症”についての知識～福祉現場で働く医療従事者が知っておきたい最新の認知症診断と治療～ | | | | | 11 | | | | | | | | | | 26 |

(3) 専門職として身につけたい技術

| カテゴリー | 研修タイトル | 研修開催月日 | | | | | | | | | | | | ページ | |
|----------------------|--|--------------|--------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----------|---|---|-----|----|
| | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | | |
| 福祉援助職の ストレスマネジメント | 職場で活かそう！PEP TALK（ベットーク） ～チームメンバーのやる気を引き出す魔法の言葉～ | | | 20 | | | | | | | | | | | 27 |
| ソーシャル ワーク | なるほどが盛りたくさん！ソーシャルワーク基礎 研修 ～利用者や家族への対応力を磨く～ | 全3回の 連続研修 | | | 18 | 17 | 22 | | | | | | | | 27 |
| | 利用者・家族との信頼関係を築く対人援助技術 ～バイステックの7原則を理解しよう～ | 複数回実施 | | | | | | | 20 | | | | | 20 | 27 |
| | 相談援助の基礎を磨く！相談援助職に求められる相談 面接の技法を身につけよう | | | | | | | | | | 21 | | | | 27 |
| 生活支援技術 | 初めてのSST 初心者編 | | | | | | | | 30 | | | | | | 27 |
| | SSTリーダー養成研修 初級編 | 全2回の 連続研修 | | | | | | | | | 11 25 | | | | 27 |
| | 障害のある利用者の能力を伸ばす就労支援とは ～工夫アップを実践するための職場づくり（5S）を 学ぶ～ | | | | | | 20 | | | | | | | | 28 |
| | “おいしい食事 いつまでも元気に” 食事介助と口腔ケアの基礎を学びましょう | 複数回実施 | 26 | | | | | | | | 30 | | | | 28 |
| | “快適な生活を送るために” 排泄介助・清潔保持（入 浴、清拭）の基礎を学びましょう | 複数回実施 | 26 | | | | | | | | 30 | | | | 28 |
| | 移動・移乗介助基礎研修 ～ボディメカニクスと持ち上げない介護～ | 複数回実施 | | 24 | | | | | | | | 8 | | | 28 |
| | 摂食・嚥下リハビリテーションの基礎と実践 | 全6回の 連続研修 | | | 24 | 22 | 26 | 30 | 28 | 18 | | | | | 28 |
| 暮らしの中の看取りを支えるケア | 情報公表 | | | | | | | 27 | | | | | | 28 | |
| ケアマネジメント | 介護支援専門員対象研修（仮） | 全2回の 連続研修 | NEW 調整中 | | | | | | | | | | | | 28 |
| | 発達障害の基礎知識と事例で考えるサービス等利用計画 ～ 子どもとその家族のニーズを適切につかむ～ | | | | | | | | 24 | | | | | | 28 |
| | 相談支援従事者対象研修（仮） | | 区内各団体や事業者の要望により、リクエスト・トピックスとして実施します。 | | | | | | | | | | | | 28 |

3 社会人として必要な知識等に関連する研修

| カテゴリー | 研修タイトル | 研修開催月日 | | | | | | | | | | | | ページ | |
|--------------------------|---|---------------|-----|---|----|----|----|----|----|----|---|----|---|-----|----|
| | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | | |
| 一般職員向け 社会人としての 基本 | 知っておきたい接客マナーのきほん | 複数回実施 情報公表 | 12 | | | | | | | 8 | | | | | 29 |
| | 介護・福祉職が知っておきたい「お金」とキャリアパス | NEW | | | | 19 | | | | | | | | 29 | |
| | よりよい関係づくり ～自分も相手も楽になるコミュニケーション術～ | | | | | | | | | | | 15 | | 29 | |
| | 仕事力がアップするシリーズ 第1弾 実務に活かそう！ 分かりやすく伝えるための論理的思考 | | | | | | 26 | | | | | | | 29 | |
| | 仕事力がアップするシリーズ 第2弾 業務管理能力を高めるPDCAサイクルのきほんを学ぶ | 全2回の 連続研修 | | | | 16 | | 17 | | | | | | 29 | |
| | クレーム対応基礎研修 ～クレームをチャンスに変えるには？～ | | | | | | | | | 14 | | | | 29 | |
| リーダー、 管理者向け マネジメント | 人材育成に役立つ！ 明日から使えるコーチングスキル | | 25 | | | | | | | | | | | 30 | |
| | 学ぼう！ファシリテーションスキルの基礎 | | | | 19 | | | | | | | | | 30 | |
| | 労務管理のポイント ～転ばぬ先の杖！事前に食い止める労務トラブル～ | | | | 27 | | | | | | | | | 30 | |
| | 職場のメンタルヘルスにおけるラインケア | | | | 25 | | | | | | | | | 30 | |
| | 職場のハラスメント防止 | | 23 | | | | | | | | | | | 30 | |
| | 法人と職員を守る！利用者・家族からのカスタマーハ ラスメントへの対応 | | | | 12 | | | | | | | | | 30 | |
| | 外国人介護職員の受け入れ事例の紹介 | | 調整中 | | | | | | | | | | | | 30 |
| | 処遇改善加算セミナー | | 調整中 | | | | | | | | | | | | 30 |
| | 現場の取り組みに活かそう！福祉・介護現場の業務改善 と生産性向上の実践（仮） ～新設された「生産性向上推進体制加算」とは～ | | | | | | | | | | | 11 | | | 30 |

4 リクエスト・トピックス研修

すでに計画している研修のほかに、その年度のタイムリーなトピックスについて、
また、地域の事業所や研修に参加された皆様からのリクエストを受けて研修を実施します。

■ 研修の詳細

| | |
|---|---|
| NEW . . . 今年度から新規に実施する研修 | 情報公表 . . . 介護サービス情報の公表に準じた研修 |
| 変更 . . . 昨年度に実施した研修内容を一部変更 | 法定研修 . . . 介護サービス・障害福祉サービスの運営基準に該当する研修 |
| 複数回実施 . . . 同じ内容の研修について、時期を変えて実施 | 全2回の連続研修 . . . 一つの研修テーマを連続して参加 |

1 「地域共生社会の実現に向けて」に関連する研修

- ・障害福祉分野と介護分野の相互理解を深め、地域での連携により支援力の向上につなげます。
- ・誰もが住みやすい地域づくりのために、幅広い視野を養います。

カテゴリー **みんなで考えようシリーズ(地域連携・支援力の向上)**

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 対象者等の特記事項 |
|---|--|--|-------|----|-----|-----------|
| | | | 3年未満 | 中堅 | 管理者 | |
| 誰もが安心して地域で暮らすために～障害のある当事者の方の話を考える～ | <ul style="list-style-type: none"> ・障害当事者の生活や支援者に望むことなどを知り、福祉に携わる職員として地域の活性化や相互協力の体制づくりへの姿勢を学びます。 ・当事者の方からのお話を聞き、参加者間でのグループワーク、登壇者と参加者の意見交換などにより、障害のある人が地域で暮らすためのサポートについて何ができるかを考え、各職場に持ち帰って現場の取り組みに活かします。 | ①調整中 ②調整中 | ◎ | ○ | | 区民オープン研修 |
| 障害のある人が地域で暮らすとは～「わけるとふえた」地域共生社会の実践例と精神障害のある当事者の方の話を考える～ | 長きにわたって地域住民と共に精神障害のある人への支援を実践されてきた講師と、そのメンバーである当事者の方に登壇いただき、自事業所における地域共生社会に関する取組や今後の方向性について考えます。 | ①就労継続支援B型 つくりっこの家クラブハウス 施設長 明石 寿美 氏 ②令和6年10月25日(金) 14:00～16:45 | ○ | ◎ | | 区民オープン研修 |
| 複数回実施 複合課題対応研修：事例検討を通してつながる多機関・多職種連携～重層的支援体制整備事業における重層的支援会議を体感する～ | 複合化・複雑化した地域生活課題に対して、一つの機関や支援者で全てを対応するには限界があり、課題に応じて、関係機関と連携してチーム支援を行うことが求められています。「8050問題」や「ひきこもり」など、複雑な支援課題のある世帯への支援について、実際の事例を用いて、「高齢」「障害」「子ども」「生活困窮」など各制度の関連機関が、包括的に困りごとの解決を目指す体制づくりのきっかけにします。 | ①十文字学園女子大学 副学長 今井 伸 氏 ②令和6年6月19日(水) 令和6年11月29日(金) 令和7年2月19日(水) 各9:00～12:00 ※同じ内容の研修を3回実施します | | ◎ | ○ | |
| ライフステージに沿った、切れ目ない支援のもとでの暮らしを考える～障害者の高齢期に向けた支援、つぎのステージに「つなげる」ために支援者ができること～ | 障害のある子どもが大人になり、それぞれの自立を目指しています。生きていく上で必要なのは、そのライフステージを通して切れ目ない支援です。青年・壮年期から高齢期への移行にあたる障害のある人の現状等を理解し、支援者としてできることについて考えます。 | ①練馬区立豊玉障害者地域生活支援センター きらら 所長 菊池 喜代子 氏 ②令和6年8月27日(火) 14:30～16:30 | ○ | ◎ | | |
| あらためて確認しよう！地域生活を支える障害者ケアマネジメントの理解～介護支援専門員と相談支援専門員による連携支援の実現に向けて～ | <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス、障害福祉サービスに共通する、地域生活を支えるためのケアマネジメント理念、目的、手法について確認し、介護支援専門員・相談支援専門員の連携の視点から、障害者ケアマネジメントについての理解を共有します。 ・ライフステージをまたいだ支援を実現し、障害当事者が、生涯を通じてあるべき生活の実現に取り組めるように、総合的かつ継続的な支援の仕組みづくりについて理解します。 | ①練馬区立光が丘障害者地域生活支援センター すてっぷ 施設長 石野 哲朗 氏 ②令和6年9月27日(金) 9:30～12:30 | | ◎ | | |
| 障害者の高齢期に向けた「準備の支援」とは(仮)～生活環境の変化を理解し、生活者の視点から地域生活支援を考える～ | <ul style="list-style-type: none"> ・65歳を超えた障害者の高齢期の支援に必要な、「高齢障害者の生活環境」への理解を深めます。 ・本人が円滑に高齢期の生活に移行し、希望する生活を実現できるように、年代に関わらず全ての支援者に求められる高齢期に向けた「準備の支援」について学びます。 ・障害福祉サービスと介護保険の制度を踏まえた高齢期の生活について介護保険優先の考え方を理解し、生活者視点での高齢期に向けた支援に必要な知識を身につけます。 | ①練馬区立光が丘障害者地域生活支援センター すてっぷ 施設長 石野 哲朗 氏 ②令和7年1月20日(月) 9:30～12:30 | ◎ | ○ | | |

| | | | | | | |
|--|---|---|--|---|---|--|
| <p>65歳到達を契機に介護支援専門員が支援する事例をもとに（仮） ～高齢期における制度をまたいだ切れ目のない支援～</p> | <p>障害福祉サービスを受けていた方が65歳を契機にして介護保険サービスの支援が加わり（移行し）、介護支援専門員によるケアプラン作成を行った事例について、依頼時から調整、ケアプラン作成、サービス提供までの一連の流れとその場面ごとにおきたいポイントについて理解します。また、高齢期における制度をまたいだ切れ目のない支援の提供に向けて、障害福祉サービスと介護保険サービスの円滑な連携、運動について考えます。</p> | <p>①練馬区立光が丘障害者地域生活支援センター すてっぷ 施設長 石野 哲朗 氏 相談支援専門員 相澤 紀子 氏</p> <p>②令和6年11月22日（金） 13：30～16：30</p> | | ◎ | ○ | |
| <p>介護支援専門員の不安を軽減しよう！ 65歳到達時の引き継ぎ時に必要な障害福祉サービス制度等の知識や実務を知る（仮）</p> | <p>高齢期における制度をまたいだ切れ目のない支援の提供に向けて、65歳到達の引き継ぎ時に必要な障害福祉サービス制度等の知識や実務を知ることで、障害福祉サービスと介護保険サービスを併用したケアプラン作成時の不安を軽減します。</p> | <p>①練馬区立光が丘障害者地域生活支援センター すてっぷ 施設長 石野 哲朗 氏</p> <p>②令和7年2月14日（金） 9：30～11：30</p> | | ◎ | ○ | |

カテゴリー 知っておきたいトピックス

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 対象者等の特記事項 |
|--|--|---|-------|----|-----|-------------------------|
| | | | 3年未満 | 中堅 | 管理者 | |
| ヤングケアラーの理解と支援について | サポート活動を長きにわたって実践している講師よりヤングケアラーについて学び、日頃の支援において役に立つ、専門職としての引き出しを増やします。 | ①一般社団法人 ケアラークラス 代表理事 若年認知症ねりまの会 MARINE 代表 田中 悠美子 氏 ②令和6年11月11日（月） 10：00～12：00 | | ◎ | ○ | |
| 若年性認知症の本人・家族への支援の考え方とその実際 | 若年認知症のご本人やご家族へのサポート活動を長きにわたって実践している講師より若年性認知症について学び、日頃の支援において役に立つ、専門職としての引き出しを増やします。 | ①一般社団法人 ケアラークラス 代表理事 若年認知症ねりまの会 MARINE 代表 田中 悠美子 氏 ②令和6年12月9日（月） 10：00～12：00 | | ◎ | ○ | |
| 「障害者とのコミュニケーションガイドブック」に関する研修（仮） | 調整中 | ①調整中 ②調整中 | | | | 医療従事者 障害福祉・介護サービス従事者 |
| 大人の発達障害について知り、支援に活かす ～生きづらさを抱える人に寄り添うということ～ | 大人の発達障害の特性について理解し、支援者としての心構えや関わり方を学びます。 | ①東京都発達障害者支援センター おとなTOSCA 副センター長 桑野 大輔 氏 ②令和6年7月23日（火） 14：30～16：30 | ○ | ◎ | | |
| 地域での孤立を防ぐために、私たち専門職ができること ～生活困窮者や高齢者、障害者や子ども等を地域から孤立させない支援について～ | 社会的孤立が課題とされる時代、地域福祉が重要となっています。地域共生社会の実現を目指して、住民参加での地域づくり、生活困窮者や判断能力が不十分な高齢者、障害者、子ども等を地域から孤立させない支援、貧困の連鎖を断ち切る支援を一緒に考えていきましょう。 | ①調整中 ②調整中 | | ◎ | ○ | |

ヤングケアラーの理解と支援について

「ヤングケアラー」「若者ケアラー」の概念と実態、国や自治体の施策の動向を知り、ヤングケアラーを取り巻く社会的な課題を理解します。



研修の中では、ヤングケアラーの実際の困りごとを具体的に知り、動画視聴からも実態をつかみます。事例をもとにした支援について考えるディスカッションなどからも理解を深めていきます。若年認知症の本人や家族、ヤングケアラーをサポートする活動を長きにわたって行っている講師から、「ヤングケアラーへの支援の捉え方」「ここに寄り添うために何が必要か」「支援の気づきと関係者間の連携」など具体的な支援と支援者にとって必要なことを学びませんか？
この機会に、ヤングケアラーについて知り、専門職としての引き出しを増やし視野を広げたい方におすすめです。

大人の発達障害について知り、支援に活かす
～生きづらさを抱える人に寄り添うということ～

今日、発達障害の早期発見・早期支援に向けた様々な取り組みが行われており、幼少期に発達障害の診断を受け必要な支援につながっている方が増えてきています。一方、成人期になって初めて発達障害の特性による問題が



表面化し、適切な支援機関につながらず困ってしまうケースが多くなります。発達障害への支援は、ライフステージに合わせて適切な相談支援、生活支援につなげることが大切となります。
この研修では、「大人の発達障害」の特性や基本知識について知り、支援者としての心構えや関わり方を学びます。また、本人に寄り添い適切に支援するために、生活の中で生きづらさを感じる点を理解し、わたしたちができることは何かを考えます。
利用者やご家族、職員との関わり方に悩んでいる方、「大人の発達障害」についての基礎知識を習得したい方におすすめです。

カテゴリー 練馬区について知る

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 対象者等の特記事項 |
|--|--|---|-------|----|-----|-----------|
| | | | 3年未満 | 中堅 | 管理者 | |
| 生活に困窮する人への支援 ～生活サポートセンターの取り組み～ | 生活に困窮する人の支援について、生活サポートセンターの取り組みを知り、日頃の支援において役に立つ、専門職としての引き出しを増やします。また、生活困窮や孤立の背景を理解し、多職種連携の重要性について一緒に考えます。 | ①社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会 生活サポートセンター 所長 相馬 文子 氏 ②令和6年7月18日(木) 9:30～11:30 | | ◎ | ○ | |
| 知っておくとトクする！ 練馬区の歴史から地域特性について知り、支援に活かそう | 介護や障害福祉に関する支援やサービスを受けている方を理解するために、練馬区近年の歴史的な側面からその方が居住している地域について知り、支援の充実に活かします。 | ①練馬区立石神井公園ふるさと文化館 ②調整中 | ◎ | ○ | | |
| 地域で活動している人や団体等とのつながり、支援の輪を広げよう ～練馬ボランティア・地域福祉推進センター/コーナー(光が丘・大泉・関町)の取り組みより～ | 区内で従事する専門職として知っておきたい練馬区における福祉関連の仕組みや機関、会議体などの役割を理解し、区民に対する支援の充実に活かします。 (地域包括支援センター、障害者地域生活支援センター、地域生活拠点、自立支援協議会、地域ケア会議など) | ①社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会 関町ボランティア・地域福祉推進コーナー 加藤 遼子 氏 ②令和6年9月20日(金) 14:30～16:30 | ○ | ◎ | | |
| 児童福祉分野から地域共生社会を考える | 練馬区における子ども(児童)を取り巻く状況や課題等の話を聞き、日頃の支援において役に立つ、専門職としての引き出しを増やします。 | ①練馬区 教育委員会事務局こども家庭部 子ども家庭支援センター 所長 ②日程調整中 9:30～11:30 | | ◎ | ○ | |
| 特別支援学校(高等部)について知り、成人期の支援に活かす | 教育現場である特別支援学校の現状や課題について知り、卒業後の成人期のステージで支援する事業者がよりよい支援を行うためのヒントを得ます。 | ①東京都練馬特別支援学校 主幹教諭 田中 聡 氏 ②令和6年6月21日(金) 9:30～12:00 | | ◎ | ○ | |
| 生きづらさを抱えた人への支援 ～不登校やひきこもり状態で孤立し、社会とのつながりを失っている若者たち～ | 生きづらさを抱えた人の支援について、ねりま若者サポートステーションの取り組みを知り、日頃の支援における専門職としての引き出しを増やします。 | ①ねりま若者サポートステーション 総括コーディネーター 大内 佳和 氏 ②令和6年7月29日(月) 14:30～16:30 | ○ | ◎ | | 区民オープン研修 |

生活に困窮する人への支援
～生活サポートセンターの取り組み～

生活困窮者自立支援制度や生活サポートセンターの相談内容などを学び、生活困窮や孤立の背景を理解します。また、各機関と連携して取り組んだ支援の事例をもとに、生活困窮者に必要な支援、多職種連携の重要性について重要性について考え理解を深めます。



この機会に、コロナ禍で表面化した生活課題など練馬区における直近の地域課題を知り、専門職としての引き出しを増やしませんか？介護サービス、障害福祉サービスの職員問わず、複合化・複雑化した地域の課題に対応するため、生活に困窮する人への支援の現状を知り、実践に活かしましょう。

～昨年度の研修終了後アンケートより～

- 「様々な専門職と意見交換でき勉強になった」
- 「事例が具体的に分かりやすかった。サービス・制度を知り、一人で悩まず連携していきたい」
- 「気づきや学び、考えさせられることが多く、今後の支援に役立った」
- 「困った人は困っている人という言葉がささった。地域で支えるこ

特別支援学校(高等部)について知り、
成人期の支援に活かす



この研修では、練馬特別支援学校の先生にお越しいただき、知的障害のある生徒が通学する練馬特別支援学校(高等部)を例に、「どのようなカリキュラムで、どんな指導を受けているのか」「進路指導や卒業後の進路について」「保護者の状況」など特別支援学校の現状や課題について理解します。

この機会に18歳を契機にした切れ目のない支援に向けて、「卒業後、成人期のステージで支援する事業者」「将来、高等部に通学する児童を支援している児童発達支援や放課後等デイサービス等の事業者」に必要な支援、連携について学びませんか。

～昨年度の研修終了後アンケートより～

- 「学校の様子の動画や写真を通して、将来を見据えた授業内容やアセスメント方法について知ることができた」
- 「学校で工夫されている支援ツールなど、事業所内でも活かしていきたい」
- 「学校との連携ができそうだと感じ、互いの顔が見える関係づくりをしていきたい」

2 「求められる人物像」に沿った研修

(1) 専門職として必要な価値観・倫理観・姿勢を養う

カテゴリー 人権と尊厳の保持

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 特記事項 |
|--|---|--|-------|----|-----|----------|
| | | | 3年未満 | 中堅 | 管理者 | |
| これだけは知っておきたい！ 障害者、高齢者福祉の歴史と発展過程 ～利用者の尊厳と権利擁護の考えを理解する～ | <ul style="list-style-type: none"> 介護、福祉職が利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であるために、戦後から現在までの障害者、高齢者福祉の歴史や発展過程、基本理念を学びます。 利用者の意思を尊重し、本人の意思決定の能力を踏まえつつ必要なサービスを選択できるよう、利用者の尊厳と権利擁護の考え方を理解します。 | ①日本障害者協議会（JD）副代表 東洋英和女学院大学 名誉教授 石渡 和美 氏 ②令和6年7月22日（月） 13：30～16：30 | ◎ | ○ | | 区民オープン研修 |
| 支援者として価値観・倫理観を身に付けよう！ 障害者の意思決定支援と障害者権利条約 | 障害者権利条約の内容について理解し、主に意思決定支援の必要性と実践について学びます。 | ①東洋大学 福祉社会デザイン学部 社会福祉学科 教授 高山 直樹 氏 ②令和6年4月19日（金） 9：30～11：30 | ◎ | ○ | | 区民オープン研修 |
| 複数回実施 「合理的配慮」と「共生社会の実現」を考えよう ～4月から施行！「改正障害者差別解消法」を理解する～ | 法の整備に関わり、当事者でもある講師から、令和6年4月に施行された「改正障害者差別解消法」の制度の概要を学び、基本的な考え方を身につけます。また、「不当な差別的取り扱いの禁止」「合理的配慮の提供」について理解し、専門職として日々の支援を振り返り、実践に活かします。 | ①認定NPO法人 DPI日本会議 副議長 尾上 浩二 氏 ②令和6年4月16日（火） 令和7年1月24日（金） 各14：30～16：30 ※同じ内容の研修を2回実施します | ◎ | ○ | | 区民オープン研修 |
| 人権ってだれのもの？ 「気づき」から考える、みんなにとって「大切なこと」 ～福祉職として人権の尊重について、身の回りの出来事からあらためて考えよう～ | <ul style="list-style-type: none"> 福祉サービス従事者としての基盤である人権の尊重について理解します。 支援の場や地域生活の中で起きている人権侵害や人権問題について話し合い、高齢者や障害のある人、その家族、支援者など、それぞれにとって大切なことは何かを考え、実践に活かします。 | ①武蔵野大学 客員教授 女性の暮らしやすさを考える ソーシャルワーク研究会 会長 小松 美智子 氏 ②令和6年6月24日（月） 13：30-16：30 | ◎ | ○ | | |

カテゴリー 個人の権利をまもる制度

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 特記事項 |
|-------------------|---|---|-------|----|-----|-------------|
| | | | 3年未満 | 中堅 | 管理者 | |
| 事例から学ぶ！ 個人情報保護 | <ul style="list-style-type: none"> 福祉サービス従事者は利用者の個人情報を知り、取り扱う立場であることを再確認します。 事例を通して、日々の業務での個人情報保護の重要性を再確認し、認識を高めます。 再確認する項目や改善すべき点などが明確になり、事業所で活かすことができるようになります。 | ①練馬区福祉部 指導検査担当課 介護サービス検査係長 久保 智子 氏 ②調整中 | ◎ | ○ | | 情報公表 |
| 知っておきたい 成年後見制度 | 日常の業務に活かすため、成年後見制度（法定後見制度、任意後見制度）についての基本的知識を身につけます。 | ①社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会 権利擁護センター ほっとサポートねりま 専門員 西澤 明世 氏 ②令和6年6月14日（金） 14：30～16：30 | ○ | ◎ | | |

カテゴリー 職業倫理、コンプライアンス

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 特記事項 |
|----------------------------------|---|---|-------|----|-----|-------------|
| | | | 3年未満 | 中堅 | 管理者 | |
| 倫理及び法令遵守 & プライバシーの保護 について理解する | <ul style="list-style-type: none"> 従事者等が守るべき倫理、法令遵守について学びます。 利用者の尊厳を保持するため、利用者のプライバシーを保護する概念と取り組みを学びます。 | ①株式会社 PAO 代表取締役 グループホームPAO経堂 代表 北田 信一 氏 ②令和6年6月13日（木） 14：00～16：30 | ◎ | ○ | | 情報公表 |

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 特記事項 |
|--|---|---|-------|----|-----|-----------------------------------|
| | | | 3年未満 | 中堅 | 管理者 | |
| 身体拘束について立ち止まって考えよう ～身体拘束につながる不適切なケアをなくす取り組みとは～  | <ul style="list-style-type: none"> 身体拘束廃止のための基本的事項や身体拘束が疑われるグレーゾーン行為、身体拘束につながる不適切なケアを再確認し、自事業所の日頃の支援について振り返ります。 具体事例から身体拘束しない事故を防ぐための取り組みや対策について考えます。 | ①株式会社 安全な介護 代表取締役 山田 滋 氏 ②令和6年6月26日（水） 14：30～16：30 | ○ | ◎ | | 情報公表 法定研修 |
| 施設で取り組む高齢者虐待防止対策 ～原因を分析し防止対策を講じれば防げる～  | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者虐待防止法を再確認し、施設で起こりうる高齢者虐待について理解します。 具体事例から高齢者虐待につながる事故を分析し自施設で取り組むべき対策について考えます。 | ①株式会社 安全な介護 代表取締役 山田 滋 氏 ②令和6年5月13日（月） 14：30～16：30 | ○ | ◎ | | 施設系の介護サービス従事者 情報公表 法定研修 |
| 今井塾！ 養護者による高齢者虐待の防止と対応 （在宅系サービス編） | <ul style="list-style-type: none"> 在宅の高齢者への権利擁護、虐待の対応方法を習得し、利用者に対するサービスの質向上を目指します。 行政との協働における基本的な視点、行政の役割と事業者の役割について理解します。 | ①十文字学園女子大学 副学長 今井 伸 氏 ②令和6年7月10日（水） 9：00～12：00 | ◎ | ○ | | 在宅系の介護サービス従事者 情報公表 法定研修 |
| 虐待・グレーゾーンについて考える | 虐待、グレーゾーンと思われる事例を通して、利用者の尊厳が損なわれている状況に気づき、実践を改善できるよう利用者支援について考えます。 | ①東洋大学 福祉社会デザイン学部 社会福祉学科 教授 高山 直樹 氏 ②令和6年10月16日（水） 10：00～15：30 | | ◎ | ○ | 法定研修 |
| 障害者虐待防止法と虐待防止対策を考える（仮） ～虐待を防止するために組織・チームとして取り組むこと～ | 従事者等による障害者虐待の実態を理解し、事業所における障害者虐待の防止についてグループワークを通して学びを深めます。さらに運営基準により義務化された内容を再確認し、自事業所の効果的な取組につなげます。 | ①かわさき社会福祉士事務所 所長 川崎 裕彰 氏 ②令和6年7月23日（火） 9：30～12：30 | ○ | ◎ | ○ | 法定研修 |
| 実践に活かす！ 意思決定支援のプロセスを理解しよう ～「認知症の人の意思決定支援ガイドライン」から支援のポイントを学ぶ～ | <ul style="list-style-type: none"> 認知症の人が意思を形成、表明でき、その意思が尊重されることは、日常生活・社会生活において重要であることを理解し、意思決定支援の必要性について学びます。 「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」に基づいて意思決定支援のプロセスを理解し、様々な場面における支援の具体的な取組みについて、ワークを通して学びを深め、実践に活かします。 | ①かわさき社会福祉士事務所 所長 川崎 裕彰 氏 ②令和6年8月27日（火） 9：30-12：30 | ○ | ◎ | ○ | |

虐待・グレーゾーンについて考える

事前課題をもとにグループワークを行い、「これって虐待かしら？」「不適切なケアかな…」ということを考えます。介護サービスと障害福祉サービスで支援する対象者は違っても「虐待（グレー）かもしれない」と考える視点は同じです。それぞれの分野から「虐待」について一緒に考えてみませんか。
研修で得た気づきや学びを事業所に持ちかえって伝達研修を行うと効果的です。



～昨年度の研修終了後アンケートより～

「介護サービス事業所と障害福祉サービスの事業所で同じ問題点があるという事を知ることができました」
「虐待防止の担当者となり、職場で伝達研修を行うために参加しました。研修での気づきを持ち帰り、共有したいと思います」
「他の事業所と交流ができ、日々の課題に対して新たな気づきがありました」

身体拘束について立ち止まって考えよう ～身体拘束につながる 不適切なケアをなくす取り組みとは～

この研修では、身体拘束を禁止する法令を再確認し、不適切ケアをなくす現場の取り組みについて学びます。豊富な事例から「身体拘束せずに事故を防ぐ方法」「認知症利用者の事故防止対策」など、実践にすぐ活かせる対策を具体的に学びます。



また、グループで事例をもとに支援方法について討議し、理解を深めていきます。

内容は「介護サービス情報の公表」に準じており、自事業所の足りない取り組みや対策を知り、リスクマネジメント体制のレベルを向上させたい方におすすめです。山田先生の講義は、受講後に講義内容を抜粋した伝達研修用の動画を提供いただけ、1か月視聴できます。事業所で伝達研修をしたい方にもおすすめです。

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 特記事項 |
|--|--|--|-------|----|-----|--|
| | | | 3年未満 | 中堅 | 管理者 | |
| <p>驚くほど事故が減る！ 介護・福祉事業のリスクマネジメント</p> <p>リニューアル</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメント強化の概要を再確認し、自施設・自事業所の事故防止体制について振り返ります。 ・介護サービス・障害福祉サービス事業所の具体事例から事故防止体制強化の具体策について学び、事故防止体制レベルの向上につなげます。 | <p>①株式会社 安全な介護 代表取締役 山田 滋 氏</p> <p>②令和6年4月18日（木） 14：00～16：30</p> | ○ | ◎ | | <p>情報公表</p> <p>法定研修</p> |
| <p>練馬区で起こりうる自然災害に備えよう ～福祉事務所における防災の基本を知る～</p> <p>リニューアル</p> | <p>練馬区内で想定される自然災害について知り、災害時に利用者に対して、支援者としてどのように対応していくべきかを再確認します。</p> | <p>①講義：日本工営株式会社 演習：一般社団法人 減災ラボ 代表理事 鈴木 光 氏 防災体験：練馬区立 防災学習センター</p> <p>②令和6年6月21日（金） 13：30～17：00</p> | | ◎ | ○ | <p>共催：練馬区立 防災学習センター</p> <p>情報公表</p> |
| <p>感染症・食中毒の予防、蔓延防止</p> | <p>施設等における感染症予防はなぜ必要なのでしょうか？施設等で働く私たちが、お客様、そして自分たち自身を感染症から守る基礎知識を学びます。</p> | <p>①順天堂大学医学部附属練馬病院 感染対策室 感染管理認定看護師 飯塚 智彦 氏</p> <p>②令和6年11月12日（火） 14：00～16：30</p> | ◎ | ○ | | <p>情報公表</p> <p>法定研修</p> |
| <p>全3回の連続研修</p> <p>感染症に強い施設・事業所を目指す！ 感染症対策リーダー養成研修 ～個別に課題を見出し、課題解決のための戦略を考える～</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策の基本知識を再確認し、自施設・事業所の感染対策に関わる体制について振り返ります。 ・チェックリストを用い、個別に課題を見出し、課題解決のための戦略を講師の助言をもとに考えます。 ・実践事例を共有し、自施設・事業所の感染対策における体制強化につなげます。 | <p>①東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 感染制御学 教授 菅原 えりさ 氏</p> <p>②第1回：令和6年9月12日（木） 第2回：令和6年10月18日（金） 第3回：令和6年12月16日（月） 各13：00～17：00</p> | | ◎ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・連続3回のすべての研修に参加できる方 ・事業所での取り組みに関する課題提出に対応できる方 |
| <p>自然災害編BCP 策定後のフォローアップ研修 （仮）</p> <p>NEW</p> | <p>調整中</p> | <p>①調整中 ②調整中</p> | | | ◎ | |

**実践に活かす！
意思決定支援のプロセスを理解しよう**
～「認知症の人の意思決定支援ガイドライン」から
支援のポイントを学ぶ～

支援を受ける高齢者の置かれがちな状況を理解し、自己決定の尊重に基づいた意思決定支援の必要性について学びます。「認知症の人の意思決定支援ガイドライン」に基づいて、意思決定支援の基本原則やプロセスを理解し、日常生活・社会生活の様々な場面における支援の取り組みについて学びましょう。



高齢・障害分野で相談援助・権利擁護業務を行っている講師から、「意思決定支援チームでの情報共有」「記録を残すときのポイント」「意思決定支援会議の運営におけるファシリテーションスキルの活用」など、実践に活かせる取り組みを具体的に学ぶことができます。意思決定支援のプロセスや基本の考え方、姿勢を学べる内容です。

**感染症に強い施設・事業所を目指す！
感染症対策リーダー養成研修**
～個別に課題を見出し、
課題解決のための戦略を考える～

【全3回の連続研修】


この研修では、第1回目で「標準予防策」「ゾーニング」など、感染対策の基本を再確認し、自施設・事業所の感染対策の体制について振り返ります。また、第2回目にチェックリストを用い、感染対策の出来ている所・出ていない所を各事業所ごとに把握し、そこから見えた課題を共有し、講師と共に個別に解決策を探っていきます。第3回目では、各事業所で改善したことや取り組んだことなど実践事例を共有し、感染対策における体制強化につなげます。



令和6年度感染症BCPの訓練義務化に対応できるよう、感染対策におけるリーダーを養成したい方におすすめです。

(2) 専門職として知っておきたい知識

カテゴリー 制度を理解する

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 対象者等の 特記事項 |
|--|--|--|--------------|--------|---------|---|
| | | | 3 年未 満 | 中 堅 | 管 理者 | |
| 「障害者福祉のしおり」を活用して制度を知る ～成人期、高齢期に障害を持った方が練馬区で暮らしにくくために～ | <ul style="list-style-type: none"> 練馬区が発行している「障害者福祉のしおり」を活用して、支援を「考える」経験をしします。 どのような情報を、どこから集めることができるか「調べる・学習する」経験をしします。 「正しい答えを知っている人に聞く」ために、研修参加者と話をしてネットワークをつくります。 | ①練馬区福祉部 大泉総合福祉事務所 福祉事務係長 小嶋 康裕 氏 ②令和6年11月22日（金） 9：30～11：30 | ◎ | ○ | | |
| 移動支援サービスの基礎知識 ～障害者の余暇・社会参加支援を考える～ | <ul style="list-style-type: none"> 障害者施策の変遷から、移動支援の法的な位置づけや経緯について学び、求められている障害者の余暇や社会参加の支援について学びます。 知的障がい・発達障がいの特性を理解した支援方法について、支援に入る前の準備やバニックが起こる仕組み、介入のポイント等を具体的に学びます。 | ①NPO法人 クローバー 事務局長 藤井 巨 氏 ②令和6年7月25日（木） 9：30～11：30 | ◎ | ○ | ○ | |
| 今井塾！ 年金制度のしくみと 高齢者の所得保障 | <ul style="list-style-type: none"> 年金制度の概要を理解することで、利用者支援に活かすことができるようになります。 参加された皆さんの将来の所得保障の現実を理解し、高齢期の所得保障における予期的社会化を図ることが出来るようになります。 | ①十文字学園女子大学 副学長 今井 伸 氏 ②令和6年8月21日（水） 9：00～12：00 | ○ | ◎ | | |
| 今井塾！ 医療保険制度のしくみと 後期高齢者医療制度 | 高齢者の医療保険の仕組みと後期高齢者医療制度について理解することで、利用者の経済的支援に活かします。 | ①十文字学園女子大学 副学長 今井 伸 氏 ②令和6年11月20日（水） 9：00～12：00 | ○ | ◎ | | |
| 今井塾！ 生活保護制度と 低所得者施策 | 介護保険サービス利用者へのソーシャルワークを実践するにあたり、生活保護制度と低所得者への支援方法を学びます。 | ①十文字学園女子大学 副学長 今井 伸 氏 ②令和7年1月29日（水） 9：00～12：00 | ○ | ◎ | | |
| 全3回の連続研修 介護福祉士受験対策講座 | 「介護福祉士国家試験（筆記）」の合格を目指します。 | ①高齢社会権利擁護研究所 所長 野島 正典 氏 ②第1回：令和6年10月4日（金） 第2回：令和6年11月1日（金） 第3回：令和6年12月2日（月） 各9：30～16：30 | | ◎ | | <ul style="list-style-type: none"> この講座を初めて受講される方（テキストや模擬試験を無料で提供しているため、お一人1回の受講になります） 実務者研修を修了、または修了予定の方で、令和6年度介護福祉士国家試験（筆記）を受験予定の方 連続3回すべての研修に参加でき、合格結果を報告していただける方 |
| 全2回の連続研修 ケアマネジャー受験対策講座  | 「介護支援専門員実務研修受講試験」の合格を目指します。 | ①高齢社会権利擁護研究所 所長 野島 正典 氏 ②第1回：令和6年8月2日（金） 第2回：令和6年9月2日（月） 各9：30～16：30 | | ◎ | | <ul style="list-style-type: none"> この研修を初めて受講される方（テキストや模擬試験の費用を無料で提供しているため、お一人1回の受講になります） 令和6年度の介護支援専門員実務研修受講試験を受験予定の方 連続2回の研修に参加でき、合格結果を報告していただける方 |

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 対象者等の 特記事項 |
|---|---|---|------------------|--------|-------------|---------------|
| | | | 3 年 未 滿 | 中 堅 | 管 理 者 | |
| <p>複数回実施</p> <p>これだけは知っておきたい！ 各障害の特性理解とその支援 基礎編</p> | <p>障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、各障害の内容、特徴および障害に応じた社会支援について学びます。また、障害の受容のプロセスなど、家族の心理、かかわり支援を理解します。</p> | <p>①株式会社 ツクイスタッフ パートナー講師 岩見 俊哉 氏 (株式会社 MAST 代表取締役)</p> <p>②令和6年5月22日(水) 13:30~16:30 令和6年11月26日(火) 9:30~12:30</p> <p>※同じ内容の研修を2回実施します。</p> | ◎ | ○ | | |
| <p>複数回実施</p> <p>その人らしく暮らすためにサ ポートする支援者に伝えたい こと ～本人を理解するために知的障 害・発達障害を理解する～</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本人を理解することの大切さとそのための視点を身につけます。 ・「障害のあるAさん」ではなく、「Aさん」を一人の人として考えることをとおして、障害を理解する視点を学びます。 ・知的障害、発達障害の特性を理解します。 | <p>①社会福祉法人 同愛会 東京事業本部 監査室 古山 恵治 氏</p> <p>②令和6年4月24日(水) 令和6年10月22日(火)</p> <p>各13:30~16:30</p> <p>※同じ内容の研修を2回実施します。</p> | ◎ | ○ | | |
| <p>現場に活かせる！発達障害の ある子どもの特性理解と支援 方法</p> <p>～支援の中でおさえておきたい対 応を身につけよう～</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害の基本特性や分類を理解し、支援の中でおさえておきたい対応方法を学びます。 ・よくある疑問や事例検討を通し、発達障害のある子どもへの支援方法を知り、実践に活かします。 | <p>①練馬区立こども発達支援センター 公認心理師 相談支援専門員 熊丸 高雄 氏</p> <p>②令和7年1月30日(木) 9:30~12:30</p> | ◎ | ○ | | |
| <p>基礎編！ ダウン症の特性の理解に ついて ～行動を支える諸機能の特徴～</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ダウン症のある人の基本的な障害特性や行動の特徴を学びます。また、発達の特徴や行動の課題を理解し、支援に活かします。 | <p>①東京学芸大学 名誉教授 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 理事長 一般社団法人 生涯発達リサーチ・ サポートセンター 代表理事 菅野 敦 氏</p> <p>②令和6年5月17日(金) 9:30~12:30</p> | ◎ | ○ | | |
| <p>支援編！ ダウン症のある成人者の 支援方法について ～成人期の課題と対応から学ぶ～</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ダウン症のある人の成人期の発達課題や本人を取り巻く環境の変化と暮らしを理解します。また、成人期支援の基本や退行支援などダウン症のある人の支援方法について学び、実践に活かします。 | <p>①東京学芸大学 名誉教授 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 理事長 一般社団法人 生涯発達リサーチ・ サポートセンター 代表理事 菅野 敦 氏</p> <p>②令和6年6月17日(月) 13:30~16:30</p> | ○ | ◎ | | |

「障害者福祉のしおり」を活用して 制度を知る

～成人期、高齢期に障害を持った方が
練馬区で暮らしていくために～

練馬区が発行している「障害者福祉のしおり」には様々な情報がくわしく掲載されていますが、「活用するのがなかなか難しい…」ということはありますか。練馬区にお住まいの方が障害を持たれて支援が必要になった時、「どこに相談したらよいか」「手帳はどうする?」「障害福祉サービスって?」「手当は?」「施設に入るって?」など、起きうる状況を想定し、支援を考えます。

成人期、高齢期に障害を持たれた場合の事例を通して、「障害者福祉のしおり」を活用しながらグループで意見交換し、講師からの解説を聞く、という体感型の研修です。よくある事例に関する障害福祉制度の知識も学ぶことができます。



現場に活かせる！ 発達障害のある子どもの特性理解と支援方法 ～支援の中でおさえておきたい対応を身につけよう～

この研修では、発達障害の分類や基本特性を再確認し、支援の中でおさえておきたい対応方法について学びます。実践に活かせるよう、「スモールステップ」「視覚化」「構造化」などの具体的な対応方法について、よくある事例に基づいて紹介します。前半の講義を踏まえ、後半では支援方法について考えるグループワークを行い、インプットとアウトプットの両面から理解を深めていきます。



～昨年度の研修終了後アンケートより～

「発達障害について改めて気づきがあった」
「分かりやすい具体例の解説がとても良く理解できた」
「自分の支援を振り返り活かしていきたい」
「子どもの特性を理解したうえで良い所を伸ばし、困りごとが少しでも軽減できる支援をしていきたい」

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 対象者等の特記事項 |
|--|--|--|-------|----|-----|-----------|
| | | | 3年未満 | 中堅 | 管理者 | |
| 自閉症、強度行動障害の特性の理解と支援方法 ～TEACCHプログラムを知り、「問題行動」への対処法を学ぶ～ | <ul style="list-style-type: none"> 自閉症の特徴を理解し、TEACCHプログラムの基本的な手法を学びます。 強度行動障害における問題行動を理解し、適切な支援方法を学びます。 | ①練馬区福祉部 大泉総合福祉事務所 福祉事務係長 小嶋 康裕 氏 ②令和6年12月13日（金） 9：00～12：30 | ◎ | ○ | | |
| 高次脳機能障害者の社会参加を促進するために ～高次脳機能障害の症状と社会資源を活用した支援方法を学ぼう～ | <ul style="list-style-type: none"> 高次脳機能障害の特徴とその対応について理解します。 中村橋福祉ケアセンター「だんだん」の取り組みから、中途障害者（高次脳機能障害者）への具体的な支援方法（訓練方法）を学びます。 高次脳機能障害者の相談機関や就労に向けた支援・サービスなど社会資源の活用を知り、社会復帰支援について学びます。 | ①練馬区立心身障害者福祉センター 中途障害者支援係長 相談員 中野 一 氏 ②令和6年11月20日（水） 14：30～16：30 | ◎ | ○ | | |
| 「私の難病のこと、話します」～難病者の暮らし、思い、支援を知る～ | 人生の半ばで難病になる人がたくさんいます。難病のある人はどのような思いで生活しているのか、どんな困りごとを抱えがちなのかを、当事者の語りを通して考える機会とします。その上で、活用できる社会資源や支援を知り、日頃の支援における専門職としての引き出しを増やします。 | ①調整中 ②調整中 | ○ | ◎ | | |


カテゴリー 人を理解する ～老化の理解～

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 対象者等の特記事項 |
|---------------------------|--|--|-------|----|-----|-----------|
| | | | 3年未満 | 中堅 | 管理者 | |
| 知っておきたい！ 高齢者介護に必要な医療知識 | <ul style="list-style-type: none"> 加齢にともなう変化と高齢者の疾病の症状と病態を知ります。 医療ニーズを見逃さず、医療との連携を強化し、適切なケアを行う知識を学びます。 | ①陽だまり訪問看護ステーション 大泉サテライト 看護師 新井 大 氏 ②令和6年7月17日（水） 14：30～16：30 | ◎ | ○ | | 情報公表 |
| 知っておきたい！ 高齢者介護に必要な薬の知識 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者に多い疾患に対する、薬の種類や作用など基礎知識を学び、介護・福祉職員のスキルアップを目指します。 正しい服薬方法を理解し、誤薬の予防、誤薬した場合の対処方法を身につけます。 | ①アスカ薬局 薬剤師 佐谷 怜子 氏 ②令和6年6月13日（木） 9：30～11：30 | ○ | ◎ | | |

高次脳機能障害者の社会参加を促進するために ～高次脳機能障害の症状と社会資源を活用した支援方法を学ぼう～

高次脳機能障害は外見上分かりにくく、周囲からも理解されにくいいため、社会生活がうまくいかないことがあります。改善には長い期間を要するため、本人や家族が抱える困難な状況を理解し、地域の医療機関、相談機関、支援施設などが連携し、継続的な支援が必要です。

この研修では、高次脳機能障害の特性や対応のヒントを知り、基本の知識を身につけます。研修の中では、高次脳機能障害の特徴を分かりやすく理解できる動画を交えながら理解を深めていきます。また、中村橋福祉ケアセンター「だんだん」の取り組みや、高次脳機能障害に関する相談機関、就労に向けた支援・サービスなどの社会資源を知り、本人の社会参加を促進するために必要な支援方法について学び、実践に活かします。




認知症ケアを助ける環境づくり ～在宅、通所施設、入所施設に適用可能な環境づくりの手法～

【全2回の連続研修】

認知症のある人への支援のポイントには「アセスメント」「ケア技術」「環境づくり」が主にあげられますが、自宅や施設など、「認知症のある人にとって、安心して穏やかに生活を送ることができる環境」は非常に重要となります。

この研修では認知症ケアを助ける環境づくりについて基礎から学ぶことができ、第2回目研修までに取り組んだ課題に対して、他の受講者と共有しながら講師よりコメントやアドバイスをいただくことができる研修です。

「様々なアプローチをしているけど、なかなか良い支援方法が見つからない…」と悩んでいる方におすすめです。「環境づくり」という視点を新たに学び、認知症のある人への支援をブラッシュアップしませんか？



カテゴリ 人を理解する ～認知症の理解～

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 対象者等の 特記事項 |
|---|---|--|------------------|--------|-------------|---|
| | | | 3 年 未 滿 | 中 堅 | 管 理 者 | |
| 認知症ケア基礎研修 | <ul style="list-style-type: none"> 認知症を正しく理解し、適切なケアを行うことにより本人本位のケアができる人材を育成します。 基礎研修を通し、センター方式の5つの視点を学び、本人本位のケアのあり方について考える機会とします。 | ①練馬区認知症 ケアマネジメント研究会 ②令和6年5月30日（木） 9：30～16：45 | ◎ | ○ | | 情報公表 |
| 全2回の連続研修 一人の人と向き合うことから始める認知症ケア センター方式 地域型基礎研修 | <ul style="list-style-type: none"> この研修を通して、認知症の人、本人を理解することの大切さとそのための視点（見方）を身につけます。 本人「一人」を考えることを通して、認知症の人を理解していくプロセスを体験します。 研修と日々の実践を別物にせず、本人がよりよく暮らしていくための支援を具体的に考え、日々の実践に即役立てられるようにします。 この研修をきっかけに、地元の本人と家族のよりよい暮らしやその支援について話しあえる仲間をつくり、研修後もつながっていけるようにします。 本人の理解と支援、地域のつながり（多職種協働、地域包括ケア）の道具としてセンター方式を活かします。 | ①練馬区認知症 ケアマネジメント研究会 ②第1回：令和6年6月16日（日） 第2回：令和6年7月28日（日） 各10：00～16：00 | ○ | ◎ | | 連続2回の研修に参加できる方 |
| 全3回の連続研修 地域の仲間と考える 認知症の人のよりよい暮らし 認知症ケアを深める 事例検討会 | <ul style="list-style-type: none"> センター方式を日常的に活かしながら、認知症の人が自分らしく暮らしていくための関わりやケアを着実に実践していくためのスキルアップを図ります。 本人本位のケアに向けて、事例から認知症ケアを深めます。 | ①練馬区認知症 ケアマネジメント研究会 ②第1回：令和6年9月19日（木） 第2回：令和6年10月24日（木） 第3回：令和6年12月5日（木） 各13：30～16：45 | | | ◎ | <ul style="list-style-type: none"> 当センター主催の「センター方式地域型基礎研修」を受講した方（平成21年度から令和5年度まで） 認知症介護研究・研修東京センター主催の「センター方式地域型基礎研修」を受講した方 連続3回すべての研修に参加できる方 |
| 全2回の連続研修 認知症ケアを助ける 環境づくり ～在宅、通所施設、入所施設 に適用可能な環境づくりの 手法～ | <ul style="list-style-type: none"> 地域の中で認知症高齢者が暮らしやすい生活環境を、ケアの一環として実現できる知識と実践力の習得をします。 各自が関わっている認知症高齢者の事例を取り上げ、演習を行うことにより、環境づくりを実践できるようにします。 | ①ケアと環境研究会 代表 日本社会事業大学 名誉教授 児玉 桂子 氏 早稲田大学 人間科学学術院 准教授 大島 千帆 氏 ②第1回：令和6年7月9日（火） 第2回：令和6年8月22日（木） 各13：30～16：30 | | | ◎ | 連続2回の研修に参加できる方 |
| 優しさを伝えるケア技術： ユマニチュード® | ひとをケアする職業人を対象とし、ケアを通して「あなたは大切な存在です」というメッセージを届ける包括的コミュニケーションに基づいたケア技法「ユマニチュード」の概要を学びます。 | ①IGM-Japon 合同会社 ユマニチュード認定インストラクター 金沢 小百合 氏 ②令和6年12月12日（木） 15：00～16：30 | ◎ | ○ | | |
| 医療従事者向け研修： いまさら聞けない“認知症” についての知識 ～福祉現場で働く医療従事者が 知っておきたい最新の認知症診断 と治療～ | 認知症の診断・治療について、医療職として必要な最新の専門的知識を習得し、利用者への対応力を高めます。 | ①横山外科内科 院長 金高 秀和 氏 ②令和6年7月11日（木） 10：00～12：00 | ○ | ◎ | | 障害および高齢者の福祉事業に従事する医療職 |

(3) 専門職として身につけたい技術

カテゴリー 福祉援助職のストレスマネジメント

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 対象者等の特記事項 |
|---|--|--|-------|----|-----|-----------|
| | | | 3年未満 | 中堅 | 管理者 | |
| 職場で活かそう！PEP TALK（ペップトーク）～チームメンバーのやる気を引き出す魔法の言葉～ | 相手のやる気を引き出すペップトークのエッセンスを学び、職場内の雰囲気向上や職員育成に活かします。 | ①一般財団法人 日本ペップトーク普及協会 寺本 強 氏 ②令和6年6月20日（木） 9：30～11：30 | | ○ | ◎ | |

カテゴリー ソーシャルワーク

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 対象者等の特記事項 |
|---|--|---|-------|----|-----|-------------------|
| | | | 3年未満 | 中堅 | 管理者 | |
| 全3回の連続研修 なるほどが盛りだくさん！ ソーシャルワーク基礎研修 ～利用者や家族への対応力を磨く～ | 福祉サービス従事者が利用者や家族への対応する際に必要となるソーシャルワークの基本を学びます。 | ①株式会社 チームウェル 代表取締役副社長 遠藤 恵子 氏 ②第1回：令和6年6月18日（火） 第2回：令和6年7月17日（水） 第3回：令和6年8月22日（木） 各9：30～12：00 | | ○ | ◎ | 連続3回すべての研修に参加できる方 |
| 複数回実施 利用者・家族との信頼関係を築く対人援助技術 ～ハイスティックの7原則を理解しよう～ | 「利用者や家族とどのように接すればいいかわからない」といった援助職とクライアントとの間に良好な信頼関係（ラポール）を築くため、『ハイスティックの7原則』を理解し、対人援助に必要な基本的スキルを身につけます。 | ①福祉マネジメント&デザイン 代表 福祉経営コンサルタント 水田 智博 氏 ②令和6年9月20日（金） 9：30～12：30 令和7年2月20日（木） 13：30～16：30 ※同じ内容の研修を2回実施します | | ◎ | ○ | |
| 相談援助の基礎を磨く！ 相談援助職に求められる相談面接の技法を身につけよう | 対人援助の基本である「ハイスティックの7原則」を念頭に置きながら、日々の支援やケアの振り返りについて、事例を交えながら相談面接で使われる基本的な技法を理解し、相談支援を行う際に必要な基本姿勢や技術を身につけます。 | ①福祉マネジメント&デザイン 代表 福祉経営コンサルタント 水田 智博 氏 ②令和6年11月21日（木） 9：30～12：30 | | ○ | ◎ | |

カテゴリー 生活支援技術

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 特記事項 |
|---------------------------------------|--|---|-------|----|-----|---|
| | | | 3年未満 | 中堅 | 管理者 | |
| 初めてのSST 初心者編 | ソーシャルスキルトレーニング（SST）を活用できる場面、基本的な方法、効果について学びます。 | ①SST普及協会認定講師、 精神保健福祉士、社会福祉士 河島 京美 氏 ②令和6年9月30日（月） 14：00～17：00 | | ◎ | ○ | 共催：練馬区立豊玉 障害者地域生活 支援センター 会場：練馬区立豊玉 障害者地域生活 支援センターきらら |
| 全2回の連続研修 SSTリーダー養成研修 初級編 | 認知行動療法であるSST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）の技術を学びます。 | ①SST普及協会認定講師 同朋大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 吉田 みゆき 氏 SST普及協会認定講師、 精神保健福祉士、社会福祉士 河島 京美 氏 ②第1回：令和6年11月11日（月） 13：00～17：00 第2回：令和6年11月25日（月） 10：00～17：00 | | ○ | ◎ | 共催：練馬区立豊玉 障害者地域生活 支援センター 会場：練馬区立豊玉 障害者地域生活 支援センターきらら 連続2回の研修に参加できる方 |

| | | | | | |
|---|---|--|---|---|--------------------|
| 障害のある利用者の能力を伸ばす就労支援とは ～工賃アップを実践するための職場づくり(5S)を学ぶ～ | <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある方の「働く」を支援する基本の考え方をあらかじめ理解し、はたらく力の向上を目指した就労支援を学びます。 ・作業場での取り組みの手順やプロセスをはじめ、障害のある方の能力を伸ばし工賃アップを実践するための「職場づくり(5S)」を具体的に学び、支援に活かします。 | ①東京学芸大学 名誉教授 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 理事長 一般社団法人 生涯発達リサーチ・サポートセンター 代表理事 菅野 敦 氏 ②令和6年8月20日(火) 13:30～16:30 | ○ | ◎ | |
| 複数回実施 “おいしい食事ですべても元気に” 食事介助と口腔ケアの基礎を学びましょう | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の特徴と変化 ・「口から食べる」ことの大切さ ・嚥下と誤嚥 ・食事介助のポイント ・障害がある方への食事介助 ・口腔ケアの効果 | ①けあんちゅPro 代表 森 幸夫 氏 ②令和6年4月26日(金) 令和6年10月30日(水) 各10:00～12:00 ※同じ内容の研修を2回実施します。 | ◎ | ○ | |
| 複数回実施 “快適な生活を送るために” 排泄介助・清潔保持(入浴、清拭)の基礎を学びましょう | <ul style="list-style-type: none"> ・「人間の尊厳」に関わるケア ・排泄介助のポイント ・トイレに座ることの大切さ ・トイレ介助とオムツ交換の技術 ・入浴介助のポイント ・清潔保持と整容介助 ・更衣介助の基本 | ①けあんちゅPro 代表 森 幸夫 氏 ②令和6年4月26日(金) 令和6年10月30日(水) 各13:00～16:00 ※同じ内容の研修を2回実施します。 | ◎ | ○ | |
| 複数回実施 移動・移乗介助 基礎研修 ～ボディメカニクスと持ち上げない介護～ | <ul style="list-style-type: none"> ・移動・移乗介助に関する基礎を学びます。 ・ボディメカニクスと安全な介助方法、持ち上げない介護について学びます。 ・安全な歩行介助方法を学びます。 | ①株式会社 ツクイスタッフ パートナー講師 岩見 俊哉 氏 (株式会社 MAST 代表取締役) ②令和6年5月24日(金) 令和6年11月8日(金) 各13:00～17:00 ※同じ内容の研修を2回実施します。 | ◎ | ○ | |
| 全6回の連続研修 摂食・嚥下リハビリテーションの基礎と実践 | <ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下のメカニズムとその障害について理解します。 ・摂食嚥下機能の評価法を習得し、個々の障害に応じた食事介助方法について学びます。 ・摂食嚥下機能の維持、向上に必要な訓練方法や口腔ケア方法の習得を目指します。 | ①日本大学歯学部 摂食機能療法学講座 准教授 中山 澗利 氏 ②第1回:令和6年6月24日(月) 第2回:令和6年7月22日(月) 第3回:令和6年8月26日(月) 第4回:令和6年9月30日(月) 第5回:令和6年10月28日(月) 第6回:令和6年11月18日(月) 各9:15～12:00 | | ◎ | 連続6回のすべての研修に参加できる方 |
| 暮らしの中の看取りを支えるケア | <ul style="list-style-type: none"> ・終末期に関する基礎知識(こころとからだのしくみ)、利用者や家族の希望に基づいたターミナルケアについて理解します。 ・ターミナルケアの現場で直面する、利用者や家族の不安への対応について学びます。 | ①有限会社 アオキトウワン 看護統括責任者 秦 実千代 氏 ②令和6年9月27日(金) 13:30～16:30 | ○ | ◎ | 情報公表 |

カテゴリー ケアマネジメント

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 対象者等の特記事項 |
|--|---|---|-------|----|-----|-----------|
| | | | 3年未満 | 中堅 | 管理者 | |
| 全2回の連続研修 介護支援専門員対象研修 NEW | 調整中 | ①調整中 ②調整中 | ○ | | | |
| 発達障害の基礎知識と事例で考えるサービス等利用計画 ～子どもとその家族のニーズを適切につかむ～ | <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害について、その種類や基本的な特性を理解します。 ・発達障害のある子どもとその家族のニーズを適切につかみ、サービス等利用計画に反映させる具体的な考え方を、事例を通して学びます。 | ①練馬区立こども発達支援センター 公認心理師 相談支援専門員 熊丸 高雄 氏 ②令和6年9月24日(火) 9:30～12:30 | ◎ | ◎ | | |
| 相談支援従事者対象研修(仮) | 区内各団体や事業者の要望により、リクエスト・トピックスとして実施します。 | | | ◎ | | |

3 社会人として必要な知識等に関連する研修

カテゴリー 一般職員向け 社会人としての基本

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 特記事項 |
|---|---|--|-------|----|-----|--|
| | | | 3年未満 | 中堅 | 管理者 | |
| <p>複数回実施</p> <p>知っておきたい接遇マナーのきほん</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉現場に適した接遇マナーの知識や方法を学びます。 ・自分の気持ちをよりの確に相手に伝えるためのスキル（マナー）を習得します。 | <p>①HOTシステム 株式会社 代表取締役 人材育成コンサルタント 蜂谷 英津子 氏</p> <p>②令和6年4月12日（金） 9：30～12：30</p> <p>令和6年10月8日（火） 13：30～16：30</p> <p>※同じ内容の研修を2回実施します。</p> | ◎ | ○ | | 情報公表 |
| <p>介護・福祉職が知っておきたい「お金」とキャリアパス</p> <p>NEW</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・社会人の基本として給与、税、社会保険の仕組みや働き方改革に伴うルールに関する知識を学びます。 ・介護、福祉職のキャリアパスを理解することで、目指すべき道ややるべきことを明確にし、モチベーションを高めながら仕事をすることができるようになります。 | <p>①株式会社 ツクイスタッフ パートナー講師 木村 誠 氏</p> <p>②令和6年7月19日（金） 9：30～12：30</p> | ◎ | ○ | | |
| <p>よりよい関係づくり ～自分も相手も楽になる コミュニケーション術～</p> | <p>ワークを通して、コミュニケーションとは何かを知り、自分も相手も楽になるために必要なこと、自分を知ることの重要性、自分を知るときのコツ、主体的であること、主体的とは？を学びます。</p> | <p>①一般社団法人 ホスピタリティ機構 認定講師 戸辺 美由起 氏</p> <p>②令和7年1月15日（水） 13：30～16：30</p> | ◎ | ○ | | |
| <p>仕事力がアップするシリーズ 第1弾 実務に活かそう！ 分かりやすく伝えるための 論理的思考</p> | <p>ロジカルシンキング（論理的思考）の基礎知識を習得し、今後の仕事に活かします。</p> | <p>①株式会社 ツクイスタッフ パートナー講師 武島 洋子 氏</p> <p>②令和6年8月26日（月） 13：30～17：00</p> | ○ | ◎ | | |
| <p>全2回の連続研修</p> <p>仕事力がアップするシリーズ 第2弾 業務管理能力を高めるPDCAサイクルのきほんを学ぶ</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・PDCA自体をしっかりと理解し、活用するためのノウハウを習得します。また、目標の重要性とそのための「計画立案」の大切さやポイントを理解し、自ら立案します。 ・PDCAを習ってもそれを理解して作成することは難しい内容です。「目標が明確」「行動に集中」「課題がわかりやすい」のメリットを習得・体得するために、第2回の実践編では、第1回の基礎編をもとに取り組んだ実効成果について受講生で共有します。実行成果からCHECK「評価」のポイント、ACTION「改善」のポイントを整理し、正しく運用できているかを学び、ブラッシュアップをはかります。 | <p>①株式会社 ツクイスタッフ パートナー講師 木下 芳隆 氏</p> <p>②第1回：令和6年7月16日（火） 第2回：令和6年9月17日（火） 各13：30～17：00</p> | ○ | ◎ | | <ul style="list-style-type: none"> ・連続2回の研修に参加できる方 ・第2回目の研修に向けた課題に取り組める方 |
| <p>クレーム対応基礎研修 ～クレームをチャンスに変えるには？～</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・そもそもクレームとは何なのか？その意味合いを理解し、お客様の心情を理解することによって、逆にファンになっていただけることを理解する。そのためのクレーム対応プロセスを習得する。 ・相手の心情に則した対応プロセスを体得し、ロールプレイングを通して実践に活かします。 | <p>①株式会社 ツクイスタッフ パートナー講師 木下 芳隆 氏</p> <p>②令和6年11月14日（木） 13：30～17：00</p> | ○ | ◎ | | |

カテゴリー リーダー、管理者向けマネジメント

| 研修タイトル | 内容 | ①講師等、②日程 | 対象の職層 | | | 特記事項 |
|--|---|---|-------|----|-----|--|
| | | | 3年未満 | 中堅 | 管理者 | |
| 人材育成に役立つ！明日から使えるコーチングスキル | <ul style="list-style-type: none"> ・コーチングとは「自分が答えを持っているのではなく、相手が持っているもので、その可能性を引き出してあげるもの」という認識を深めます。 ・コーチングをするための環境設定や基本スキルを習得し、ロールプレイングを通して実務に活かします。 | ①株式会社 ツクイスタッフ パートナー講師 木下 芳隆 氏 ②令和6年4月25日（木） 13：30～17：00 | | ◎ | ○ | |
| 学ぼう！ファシリテーションスキルの基礎 | <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーションの基礎知識を学びます。 ・意見が活弁になる話し合いの進め方や納得する結論への導き方など、会議の場面でファシリテーションを実施するための基本的なスキルを学びます。 | ①NPO法人 日本ファシリテーション協会 永久 理恵 氏 ②令和6年6月19日（水） 13：00～17：00 | | ○ | ◎ | |
| 労務管理のポイント～転ばぬ先の杖！事前に食い止める労務トラブル～ | 福祉施設が抱えがちな労働問題、福祉施設の事務職員が知っておくべき労務に関するさまざまな事柄を、労務管理の専門家である社会保険労務士が、事例を交えわかりやすく噛み砕いて解説いたします。 | ①シム社会保険労務士事務所 所長 水城 弘之 氏 ②令和6年6月27日（木） 9：30～12：30 | | ○ | ◎ | |
| 職場のメンタルヘルスにおけるラインケア | <ul style="list-style-type: none"> ・対策のキーマンである管理・監督者が学ぶことで、組織のメンタルヘルスのリスクを効果的に回避します。 ・重要なポイントである『見る』『聴く』『繋ぐ』を中心に学びます。 | ①ティーバック 株式会社 EAP認定講師 産業カウンセラー キャリアコンサルタント 小磯 和俊 氏 ②令和6年6月25日（火） 9：30～12：30 | | | ◎ | |
| 職場のハラスメント防止 | <ul style="list-style-type: none"> ・加害者、被害者になることのリスクを回避し、生産性の低下を予防します。 ・ロールプレイングやディスカッションを通じて、日々の行動における望ましい考え方や習慣を身につけます。 | ①ティーバック 株式会社 EAP認定講師 産業カウンセラー キャリアコンサルタント 小磯 和俊 氏 ②令和6年4月23日（火） 9：30～12：30 | | ○ | ◎ | |
| 法人と職員を守る！利用者・家族からのカスタマーハラスメントへの対応 | 利用者・利用者家族からのハラスメントに対する意識や理解、対応力を向上させます。 | ①松田綜合法律事務所 弁護士 柴田 政樹 氏 ②令和6年7月12日（金） 13：30～16：30 | | ○ | ◎ | |
| 外国人介護職員の受け入れ事例の紹介 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人介護職員の豊富な受入実績をもつ、医療法人社団慈誠会の施設における事例を知る。 ・受入体制の具体的な様子がイメージでき、外国人介護職員の受入に向けた準備を進めるきっかけとする。 | ①調整中 ②調整中 | | | ◎ | 介護サービスの従事者 |
| 処遇改善加算セミナー | <ul style="list-style-type: none"> ・「特定」を含む「処遇改善加算」の概要と取得に必要な各要件等について、最新情報を含めてわかりやすく解説します。 ・対象者の選定基準や加算金の分配方法、また申請および更新の準備などについても解説します。 | ①調整中 ②調整中 | | | ◎ | 介護サービスに関する事例が多いことをご留意いただければ、障害福祉サービスの従事者も学べる内容です。 |
| 現場の取り組みに活かす！福祉・介護現場の業務改善・生産性向上の実践（仮）～新設された「生産性向上推進体制加算」とは～ | <ul style="list-style-type: none"> ・業務改善を通して介護現場の職場環境をより働きやすく変えていくために、フレームワークを用いて改善活動を進めるための具体的な課題抽出やその課題解決に向けた取り組み方法・手法を学びます。 ・令和6年度に新設された「生産性向上推進体制加算」について理解し、運営に活かします。 | ①福祉マネジメント&デザイン 代表 福祉経営コンサルタント 水田 智博 氏 ②令和6年12月11日（水） 13：30～16：30 | | ○ | ◎ | <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省が公開する介護サービス事業における生産性向上に資するガイドラインに基づいた介護サービス従事者向けの研修です。 ・ご留意いただければ、現場の業務改善に取り組みたい障害福祉サービスの方も学べる内容です。 |

■ オンライン研修 オンデマンド配信



オンデマンド配信ってなに？
どんな時に使うの？

- ・一つのカテゴリーが1～5分と動画が短時間
- ・例えば新人職員へのOJTの場面で必要な動画を選択しパソコンやスマートフォンでお気軽にご視聴
- ・お申込期間内であれば、好きな時間、好きなタイミングですきま時間を利用して何度でも動画の視聴が可能
- ・新人職員だけでなく、中堅～リーダー、管理職の方も人材育成において必要な項目をご自身で選択できます
- ・項目ごとの「確認テスト」で理解度も図れます

- 対象者** 研修センターに登録する練馬区内の障害福祉・介護サービス事業所の職員等
- 配信期間** 月初～月末まで毎月配信
- 申込方法** 視聴を希望する月の
前月10日～月末に申込
(10日が土日祝日の場合は翌営業日)

今年度も
リニューアル

その1: 9種類の研修の講師をリニューアルしました!

充実

R6 動画研修

内容

1. BCP関連の研修 (1種類)

策定したBCPの見直しにご活用ください。

TOPICS!

【1】BCP

【1】-1 BCP関連 : 講師 合同会社カサーージュ 寺岡 順子 氏

2. 感染症対策の研修 (2種類)

まだまだ気が抜けません! 安心・安全な支援に向けてご活用ください。

TOPICS!

【1】感染症・食中毒の予防及びまん延防止

【3】-1 感染症・食中毒の予防及びまん延防止 **情報公表** **法定研修** : 講師 鈴木 タ子 氏 **NEW**

【3】-2 食中毒予防 **情報公表** **法定研修** : 講師 森 幸夫 氏 **NEW**

3. 階層別研修 (7種類)

新入職員から管理職まで階層別にチーム力向上のためご活用ください。



【1】新入職員

【1】-1 待遇に関する研修 **情報公表** : 講師 小関 昇平 氏 **NEW**

【1】-2 新規採用職員 : 講師 E-care labo 菊池 みほ 氏

【2】中堅職員以上

【2】-1 中堅職員 : 講師 E-care labo 福嶋 潤一 氏 **NEW**

【2】-2 指導・育成力 : 講師 E-care labo 山郷 政史 氏

【2】-3 リーダーシップ : 講師 E-care labo 菊池 みほ 氏

【2】-4 指導方法に関する研修 : 講師 小関 昇平 氏 **NEW**

【3】リーダー・管理職

【3】-1 新人定着力 : 講師 E-care labo 山郷 政史 氏

4. 研修センターの集合研修で実施していない研修 (4種類)

集合研修で実施していないテーマを学ぶ際にご活用ください。



【1】緊急時の対応

【1】-1 緊急時の対応 **情報公表** : 講師 森 幸夫 氏 **NEW**

【2】介護予防

【2】-1 介護予防及び要介護度進行予防 **情報公表** : 講師 馬場 博文 氏 **NEW**

【3】アクティビティー

【3】-1 レクリエーション動画 : 講師 レクシル (malna株式会社) **NEW**

【3】-2 生き生き音読ワーク : 講師 折江 ふみ **NEW**

5. 新入職員向け基礎研修 (20種類)

新入職員やパート・非常勤職員向け!「研修への派遣が難しい…」など、
職場内OJTにおける人材育成でご活用ください。



| | | | |
|-----------------------------|-----------|--------------------------|------------|
| 【1】認知症の理解 | | | |
| 【1】-1 実践・認知症ケア | 情報公表 | : 講師 木村 誠 氏 | NEW |
| 【2】障害の理解 | | | |
| 【2】-1 障害に関する研修 | | : 講師 鈴木 貴彦 氏 | NEW |
| 【2】-2 権利擁護に関する研修 | | : 講師 鈴木 貴彦 氏 | NEW |
| 【3】虐待・身体拘束 | | | |
| 【3】-1 虐待～専門職として知っておきたい視点～ | 情報公表 法定研修 | : 講師 木村 誠 氏 | NEW |
| 【3】-2 身体拘束～専門職として知っておきたい視点～ | 情報公表 法定研修 | : 講師 木村 誠 氏 | NEW |
| 【4】移動・移乗介助 | | | |
| 【4】-1 介助技術の基礎知識 | | : 講師 E-care labo 福嶋 潤一 氏 | NEW |
| 【4】-2 移乗介助 | | : 講師 E-care labo 福嶋 潤一 氏 | NEW |
| 【4】-3 歩行介助 | | : 講師 E-care labo 福嶋 潤一 氏 | NEW |
| 【4】-4 車いすを使った移動介助 | | : 講師 E-care labo 福嶋 潤一 氏 | NEW |
| 【5】食事介助・口腔ケア | | | |
| 【5】-1 STが教える食事介助 | | : 講師 健芯会 笠巻 海音 氏 | NEW |
| 【5】-2 口腔ケア | | : 講師 日本訪問歯科協会 | NEW |
| 【5】-3 STが教える口腔ケア | | : 講師 健芯会 笠巻 海音 氏 | NEW |
| 【6】排泄介助 | | | |
| 【6】-1 排泄ケア 基本編 | | : 講師 大関 美里 氏 | NEW |
| 【6】-2 排泄ケア 実践・応用編 | | : 講師 大関 美里 氏 | NEW |
| 【6】-3 排泄ケア 実技編 | | : 講師 大関 美里 氏 | NEW |
| 【7】事故防止 | | | |
| 【7】-1 事故発生と再発防止 | 情報公表 法定研修 | : 講師 金山 峰之 | NEW |
| 【8】その他 | | | |
| 【8】-1 記録・アセスメント | | : 講師 E-care labo 福嶋 潤一 氏 | |
| 【8】-2 間接業務 | | : 講師 E-care labo 福嶋 潤一 氏 | NEW |
| 【8】-3 介護保険制度について | | : 講師 前川 武嗣 氏 | |
| 【8】-4 プライバシーの保護 | 情報公表 | : 講師 金山 峰之 氏 | NEW |

情報公表

…介護サービス情報の公表に準じた研修

法定研修

…介護サービス・障害福祉サービスの運営基準に該当する研修